

教育行政の独立性を守って

日本共産党守山市議員団は、27日、今国会で成立されようとしている「教育委員会制度改革法」について、守山市教育委員の皆さんと懇談を行いました。

この法案は、教育委員会が国や首長(都道府県知事や市町村長)から独立した行政組織であるという独立性をなくし、一言でいえば、国と首長の支配下におこうというもの。全国の教育関係者は立場を超えて、心配や反対を表明しています。日本共産党は、『安倍政権の教育委員会改悪法に反



対する国民的共同をよびかけます——侵略 戦争美化の「愛国心」教育、異常な競争主義の教育を許さない——』アピールを発表し、教育への政治支配を許さず、子どもと教育を守るための共同を全国でよびかけています。

守山市教育委員さんと懇談を行いました。



文教福祉常任委員会 研修報告

守山市議会文教福祉常任委員会は5月19日～21日の3日間、県外視察を行いました。以下、松葉栄太郎議員の報告です。

- 5月19日 埼玉県富士見市……介護予防
- 5月20日 千葉県香取市……生活困窮者支援事業
- 5月21日 千葉県市川市……図書館ネットワーク

埼玉県富士見市

●「市民の協働による誰でも・いつでも・どこでも参加できる介護予防のまちづくり」をコンセプトに健康福祉部内に健康増進センターを設け、健康相談から介護予防まで健康づくりを軸に、地域と一体に「介護予防事業」に取り組んでいます。

●市民の主体的な介護予防活動として取り組む「ふじみパワーアップ体操」は、身体機能や認知機能を高め、集まり、おしゃべりすることで元気になるなど、様々な相乗効果を生み出しています。

◆政府は今、「医療・介護総合推進法」を今国会で成立させ、保険料増、要支援外し・特養入所制限などを実施し、医療・介護費用を抑制しようとしています。が、「予防に勝る医療なし」病状悪化する前の健康づくりを最重要視すべきと思われました。

千葉県香取市

●香取市の人口は現在8万2千人。生活保護を受ける方は5年間で5割増(現在683人)と年々増えています。

●昨年12月成立の「生活困窮者自立支援法」に基づきモデル事業として実施。総合相談機能の充実を図るため、市内全域を対象に「香取自立支援相談センター」を設けました。業務は社会福祉法人に委託(職員6名)

●事業は、自立相談支援・就労準備支援・家計相談支援。生活保護担当課が中心となり、各部署との支援調整会議を実施。ハローワークや社協、障害者支援センターなど関係機関とも連携を取りながら支援をすすめています。

千葉県市川市

●相談の約6割は疾病や引きこもり等を理由とする就労に関する内容です。就労支援体制を充実させるために、就労の受け皿となる事業所などの開拓が必要とのことでした。

●千葉県は「読書県」と言われており、市川市からは永井荷風や井上ひさしなど多くの文化人が誕生し、「文教都市」と呼ばれています。

●平成4年から教育委員会教育センター内に「市川学校図書館支援センター」を設置し、中央図書館と市内小中学校の学校図書館をネットワークで結ぶ、「学校図書館ネットワーク事業」をされています。各学校からの要求を受け、中央図書館から配送(週2回)されるシステムですが、各小中学校には、司書教諭と学校司書・学校図書館員が配備されています。

●市川市のめざす学校図書館像は「生きる力・夢や希望を育む学校図書館」であり、具体的には、▽学習を支える▽読書生活を支える▽研究を支える。をメインに保護者や地域の方もボランティアとして支援に参加されています。

◆現在の守山市立図書館は狭隘で老朽化しており、更新の計画が進んでいます。これまでよりもさらに充実した市立図書館として、市民に愛され、市民の夢と希望を育む図書館となるよう、今回の研修を参考にして取り組みたいと感じました。

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
小牧一美
TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

守山市議会議員
松葉栄太郎
TEL 584-3077
FAX 584-3466